

7/25
木

首相の説明 意味不明

自民党的高村正彦副總裁は19日放送のNHK番組で「なぜ国民の理解が得られないのか」と問わ

戦争法案への批判が広がるなか、安倍首相は、この間、民放テレビに相次いで出演し、法案について説明しました。

ところが模型まで使って示したのは、「母屋」や「離れ」から日本に飛び火する「火事」を「消火」し「切れ目のない安保」を「全保障」を図るというものの。「戦争」を「火事」に例える無理筋の説明です。「火事」は消し止め

れば済みますが、「戦争」は武力行使をすれば相手から反撃されます。根本的に性格が異なることを

「例え話」を使って説明するのは、「安倍首相が

法案を説明する論理も能

力もない」とを、自ら証明するもの（日本共産党の志位和夫委員長）で

22日の党総務会では「例え話を使わず論破していく

方がわかりやすい。聞いている限り、反対がさらに強

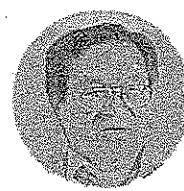
いきめる場面も。ツイッターでは「生肉（火炎）の模型）の説明は何だつたのか」「全く意味不明」などの疑問や批判が殺到し、炎上しました。

当てたことを国民の理解が得られていない原因に安倍首相のテレビ説明は自民党内でも不評で、挙げました。与党の質問時間にかわりなく、政

府はいくらでも答弁ができるはず。答弁すればするほど國民の批判が高ま

るほど、自民党的改選議員は来夏の参院選への影響を懸念し、公明党的支持母体である「創価学会」では法案成立反対

元法政大教授
五十嵐 仁さん



たたかい音場自公は動搖

が多数で、両党ともジレンマ（板はさみ）を抱えています。

そして第三に、これから2カ月、安倍政権には数々の山が立ちはだかります。「戦後70年談話」、原発再稼働、沖縄新基地協定）、選挙制度改革、労働の規制緩和、岩手県知事選などです。

政権に数々の山

支持率急落の中、これらの山を乗り越えて法案を成立させられるのか。「廃案」の声が圧倒的多数になり、「やれるものならやってみろ」という状況に追い込まれる可能性は十分にあります。